

グローバル教育コンクール2009

【活動報告部門】

読み聞かせで広げた国際交流の輪



アウロア小学校で、エプロンシアター「ねずみのよめいり」を英語
と日本語で演じる「オイガ」の部員たち（2009年、8月17日）

福島県立あさか開成高等学校

読み聞かせボランティア部「オイガ」

顧問 庄司 一幸

はじめに

今年の8月、私は読み聞かせボランティア部「オイガ」の部員3名とともに、フィリピンを訪問してきました。「オイガ」とはスペイン語で”耳を傾けてね”という意味です。

現地では絵本を手渡すとともに、絵本詩集『木とわたし』の読み聞かせとエプロンシアター「ねずみのよめいり」を披露し、フィリピンの子どもたちと交流を深めて来ました。2007年1月について2度目の訪問で、「オイガ」は6年前からアジアの子どもたちに、自分たちで英訳した絵本を贈る活動を続けています。これは、その活動報告です。

1、「オイガ」の誕生

2001年4月、私は本校に赴任してきました。前任校（福島県立石川高校）では、福島県内の学校ではじめての全校一斉の「朝の読書」を軌道に乗せ、読み聞かせグループ「エクテ・モア」を創設し、閉店後の銀行や公民館で読み聞かせ活動を指導するとともに、高校生の地域での読み聞かせ活動の普及拡大を図るために、読書コミュニティフォーラム全国大会を開催するなど、読書活動に取り組んできました。

しかし、転勤が決まり、地域での読み聞かせ活動はあきらめていました。ところが、思ってもみないことが起こったのです。6月になって、授業のなかで、前任校の読み聞かせボランティアグループ「エクテ・モア」（フランス語で「私の話を聞いてね」という意味）の話をしたところ、授業終了後、生徒のひとりが私を追いかけて、「私も子どもたちのために、本を読んであげたい」と声をかけてきました。これがきっかけとなり、読み聞かせボランティア部「オイガ」が誕生しました。2001年7月14日のことです。

これまで、「オイガ」は地域の保育所や小学校の児童クラブなどを訪れ、大型絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアター、エプロンシアターなどを上演し、これまでに155回のお話し会を開催しています。このお話し会には、ライアー（竖琴）奏者の千葉義行さんや「語り手たちの会」の降矢トヨさんといった地域の人々や、郡山市立第一中学校の生徒、そして時々児童文学者岩崎京子さんとも、一緒に活動しています。岩崎さんは、創部以来「オイガ」の活動を応援してくれています。

2、フィリピンの子どもたちに絵本を贈る活動

本校は全国でも珍しい「国際科学科」という単科の単位制度高校で、将来国際社会で活躍できる人材の育成を目指しています。中国語、ハングル、スペイン語といった語学や、オーストラリアでのホームステイによる語学研修が単位として認められる「オーストラリア研修」などの専門科目を学ぶことができます。ノルウェー、デンマーク、ルーマニア、スイス、インド、スリランカなど、世界各国から留学生を受け入れていますし、世界各地に留学しています。修学旅行も、韓国やシンガポールなどの海外に出かけています。校訓として、グローバルスピリット・ヒューマンスピリット・クリエイティブスピリットを掲げています。このような環境で学んでいるので、生徒たちの国際理解、国際協力に対する意識は高く、「オイガ」の部員も、同様でした。

「オイガ」の活動が定着した、2003年7月、私は国際科学科にふさわしい活動として、フィリピンの子どもたちに、自分たちで英訳した絵本を贈る活動を提案しました。

ねらいは、地域の読み聞かせ活動の延長として、読書や読み聞かせの楽しさを、フィリピンの子どもたちに広めようと思ったからです。部員からは、即座に賛同の声があがり、活動がスタートしました。フィリピンには、埼玉県にある海外教育支援協会に、少数山岳民族の村にある子ども図書館「リブロシェラマドレ」に届けてもらいました。その後、メトロマニラにあるフォートボニファシオ小学校（マカティ地区）、アウロア小学校（ケソン市）、I C A M（トンド地区）に贈るようになりました。さらに、福島県アジア友好協会の協力を得ることができ、2007年にベトナム、2008年にラオス、ネパールまで拡大し、2008年には韓国の木浦にある共生園、2009年には中国にも絵本を届けることができました。これまでに、アジアの子どもたちに455冊の絵本をプレゼントすることができました。

アジアの子どもたちに贈る絵本は、生徒会やPTA総会で呼びかけたり、地域の人から寄せられたもので、特に、郡山郵便局の協力を得て、局内に設置した絵本ポストには、2年間に500冊近くの市民の善意が寄せられました。先日は、大阪の天王寺中学校の生徒会から300冊を超える絵本が送られてきました。

3、フィリピンに行って、絵本を渡したい

絵本には独特の言い回しがありますので、高校生にとっては、絵本の英訳は想像以上に荷が重く、そのため、英訳を手伝ってくれる在日フィリピン人を探しました。なかなか見つからずにいたところ、郡山細沼教会から紹介を受けることができ、ようやく在日フィリピン人であるビオレタ・カワラバシさんと出会いました。こうして、毎月1回土曜日の午後に指導してもらうことができました。現在は、本校の前PTA会長で郡山バプテスト教会の牧師である田島信正さんに指導していただいています。

フィリピン訪問は、4年ほど前に、部員のなかから、フィリピンの子どもたちに直接絵本を届けたいという声が上がったのがきっかけでした。

これまで、絵本を贈ってきた子ども図書館「リブロシェラマドレ」に行くことは無理なので、新たな絵本の贈り先を探すことになり、ビオレタさんにフォートボニファシオ小学校を紹介してもらい、難民高等弁務官日本事務所からアウロア小学校が、郡山ザベリオ学園のシスターモニカさんからの紹介で、I C A Mにつながりました。

そこで、2年間かけてフィリピンを訪問の資金が貯まったので、2006年6月私は「オイガ」によるフィリピン訪問を前校長先生に話しました。しかし、校長からは、治安が悪いので許可できないというつれない回答でした。そこで、私は9月末の期間休業中に、休暇をとり、自費でフィリピンに行き、フォートボニファシオ小学校などを訪問し、招待状をもらってくるとともに、ホテル周辺や訪問先周辺の治安状況について、詳しく調べてきて、校長に報告書を提出しました。これが、きっかけとなり、ようやくフィリピン訪問が実現しました。

修学旅行やオーストラリア研修、韓国での交流活動などの学校行事では、海外に行けるのに、部活動で海外に行くとなると、急に難しくなるのはおかしいことです。

私は部員たちの熱い思いを実現させることを最優先にした結果、2007年1月フィリピンを訪問が実現し、2名の部員を連れていくことができました。

4、2度目のフィリピン訪問

今年の年8月、渡辺瑞紀さん、島野穰君、宗像展史君の部員3名が自費でフィリピンを訪問し、子どもたちに直接絵本を手渡すとともに、エプロンシアターなど読み聞かせ

で国際交流をしてきました。

訪問先では、子どもたちに直接絵本を手渡すとともに、エプロンシアター「ねずみのよめいり」を英語と日本語で演じてきました。部員3人が、ナレーション、ねずみ、太陽、雲、壁など役割を分担し、見事に演じてきました。この「ねずみのよめいり」は、どの会場でも好評で、子どもたちは身を乗り出して話に聞き入り、歓声が繰り返しがりました。また、いわき市在住の田中ゆきあきさんから託された絵本詩集『木とわたし』の英語での読み聞かせもしてきました。

部員たちは、自分たちで英訳した絵本を、子どもたちに直接手渡すことができたことに感激し、これまで地道に取り組んできた活動の、確かな手応えをつかんで帰ってきました。

今回のフィリピン訪問について、渡辺瑞紀さんは、次のような感想を書いています。

「新しい地図帳へ 描こうよ われらの航路 夢とコンパス持って 大地と海越えて」これは、本校の校歌の冒頭の一節です。私は、この校歌をとてん気に入っています。

この夏、私は念願のフィリピン訪問を果たし、フィリピンの子どもたちに自分たちで英訳した絵本を手渡し、エプロンシアター「ねずみのよめいり」を英語で演じ、交流をしてきました。そして、この校歌をフィリピンの小学生の前で、大きな声で歌ってきました。歌いながら、感動で胸がキューンとなりました。まさか、フィリピンで校歌を歌うことなど、夢にも思っていなかったからです。

さらなる感動が起きました。百五十名を超す児童が、一斉に立ち上がり、私たちのために、校歌を歌ってくれたのです。お互いがお互いを理解し合おうとして、心を通いあわせている、そんな実感がヒシヒシと伝わってきて、うれしくて、うれしくて、しかたがありませんでした。

…（中略）…

フィリピンを去る日、部の顧問の先生から、「君たちのおかげで、すばらしい交流ができた、ありがとう！ このフィリピンでの活動を今後の人生に生かしてほしい」、と言われました。

人を思いやる心、人と人とのコミュニケーション、そして、人との絆が大切であることを学んだ一週間でした。

私が渡した絵本を手にした時の、幼稚園児が見せてくれたとびっきりの笑顔を、私は一生忘れない。



絵本を手にし、笑顔を見せる養護施設ナ
ヨンカバハーンの子どもたち（2009年
8月19日）

おわりに

今、「オイガ」の活動に触発された外国語会話部の部員が、絵本の英訳を手伝ってくれています。本校の卒業生が青年海外協力隊員として、アフリカのケニアで活動しています。外国語会話部では、この先輩と連絡を取り、英訳した絵本を贈る準備をすすめているところです。

5年前に、私たちの活動に感動した、東京の広尾学園中学校・高等学校の有志が集ま

り Enjoy Book s（エンジョイ・ブックス）という部を立ち上げました。また、京北学園にも、読み聞かせ活動が広がりました。

そして、昨年の１２月には、「オイガ」による読み聞かせの講習会がきっかけとなり、福島県立須賀川養護学校に、ME CORAZON（ミ・コラソン、スペイン語で、“私の大切な人”の意味）という読み聞かせサークルが出来ました。全国にある養護学校で地域に出て読み聞かせ活動をしているところはありませんので、今後も応援していこうと思っています。

そして、私はこれらの読み聞かせグループが、将来海外の子どもたちに自分たちで英訳した絵本を贈る活動をはじめると、力を貸したいと思っています。

（参考）フィリピン訪問日程

月 日	日 程	宿 泊 先
8/16（日）	千葉交通高速バス（成田行） 郡山駅前発11:25 成田空港第2 15:40 空港からホテルに	成田泊
8/17（月）	ホテルから空港へ チャイナエアライン CI 107 成田 9:40 台北 12:10 CI 703 台北 13:50 マニラ 15:50	アトリウム泊
8/18（火）	午前：アウロア小学校（ケソン市） 午後：フォートボニファシオ小学校（マカティ地区） マニラアメリカ海軍記念墓地、アメリカ空軍博物館	アトリウム泊
8/19（水）	午前：養護施設ナヨンカバハーン 午後：モンテンルパ日本人墓地	アトリウム泊
8/20（木）	午前：フリータイム 午後：I C A M（トンド地区）	アトリウム泊
8/21（金）	市内観光	アトリウム泊
8/22（土）	市内観光	アトリウム泊
8/23（日）	チャイナエアライン CI 702 マニラ 10:55 台北 12:55 CI 108 台北 14:20 成田 18:30 無料シャトルでホテルへ	成田泊
8/24（月）	無料シャトルで空港へ 千葉交通高速バス（郡山行） 成田空港第2 9:20 郡山駅前発13:40	